

第5期 大分県食育推進計画について

R7年度第1回食育推進会議資料より抜粋

食育活動者、教育機関、農林漁業者等による食育が定着しつつあることから、「うまい・楽しい・元気な大分」の実現に向け、引き続き、一人ひとりが「えらぶ・つくる・たべる」力を身に付けられるよう食育を推進する。

加えて、3つの力を身に付けるために必要な「食に関する正しい知識の理解」を促進していくこととする。

第4期 大分県食育推進計画

第5期 大分県食育推進計画

○目指す姿

「うまい・楽しい・元気な大分」

○基本目標

- ・健やかに食を楽しむ心豊かな人づくり
- ・次世代へ受け継がれていく活力ある地域づくり

○基本的な視点と施策体系

- 健全な食生活を実践できる県民の育成
(生涯を通じた取組)
 - (1) 乳幼児・児童・思春期における食育の推進
 - (2) 青・壮・高年期における食育の推進
 - (3) 生涯を通じた食育の推進
- 魅力あふれる地域の食づくり(地域での取組)
 - (1) 地産地消の推進
 - (2) 食文化の継承と発展
 - (3) 健康を支える社会環境の整備
- 食を育む環境との共生(次世代へつなぐ取組)
 - (1) 農林漁業者等による体験活動の推進
 - (2) 環境に配慮した食生活の推進
 - (3) 環境と調和のとれた農林水産業の推進

○目指す姿

「うまい・楽しい・元気な大分」

○基本目標

- ・健やかに食を楽しむ心豊かな人づくり
- ・次世代へ受け継がれていく活力ある地域づくり

○基本的な視点と施策体系

- 健全な食生活を実践できる県民の育成
(生涯を通じた取組)
 - (1) 生涯を通じた食育の推進
 - (2) 食の安全・安心への理解促進
- 魅力ある地域の食文化の次世代への継承と活用
(地域での取組)
 - (1) 食文化の継承と発展
 - (2) 農林漁業体験等を通じた体験活動の推進
 - (3) 地産地消の推進
 - (4) 健康を支える社会環境の整備
- 食を育む環境との共生(次世代へつなぐ取組)
 - (1) 環境に配慮した食生活の推進
 - (2) 環境と調和のとれた農林水産業の推進

第4期大分県食育推進計画 数値目標及び実績一覧

施策体系	指標	単位	策定時 (R2年度)	実績値 (R7年度)	目標値 (R7年度)
Ⅰ 健全な食生活を実践できる県民の育成（生涯を通じた取組）					
（１）乳幼児・児童・思春期における食育の推進	3歳児健診における一人平均むし歯本数	本	0.6 (R1年度)	0.31 (R5年度)	0.5
	朝食を毎日食べる児童の割合（小学校5年生）	%	90.0	89.9	92.4
	朝食を毎日食べる生徒の割合（中学校2年生）	%	88.3	87.2	91.2
（２）青・壮・高年期における食育の推進	朝食を毎日食べる生徒の割合（高校2年生）	%	88.6	89.0	92.0
（３）生涯を通じた食育の推進	おおいた食育人材バンクによる食育活動参加者数	人	2,538 (R1年度)	2,940 (R6年度)	3,000

Ⅱ 魅力あふれる”地域の食”づくり（地域での取組）

（１）地産地消の推進	学校給食での地場産物の活用率	%	75.6 (R1年度)	70.7 (R6年度)	75.6
	とよの食彩愛用店新規登録店舗数（累計）	店舗	5	17 (R6年度)	20
（２）食文化の継承と発展	学校給食において、月に1回「食育の日」等を決めて、地場産物や郷土料理を活用し、食育に取り組む学校の割合	%	84.2 (R1年度)	98.9 (R6年度)	89.2
（３）健康を支える社会環境の整備	食の健康応援団のうち「うま塩メニュー」を提供する店舗数	店舗	150 (R1年度)	460 (R6年度)	200

Ⅲ 食を育む環境との共生（次世代へつなぐ取組）

（１）農林漁業者等による体験活動の推進	生産者団体による農林水産業の体験活動実施回数	回	22	45 (R6年度)	40
（２）環境に配慮した食生活の推進	食品ロス削減について学習した人数	人	244	993 (R6年度)	500
（３）環境と調和のとれた農林水産業の推進	GAP指導経営体数（R5年度以降）※GAP認証農家数（R4年度まで）	戸	214 (R1年度) ※旧指標	208 (R6年度)	180



第5期大分県食育推進計画 数値目標一覧(案)

施策体系	指標	単位	基準値 (R7年度)	目標値 (R12年度)
Ⅰ 健全な食生活を実践できる県民の育成（生涯を通じた取組）				
（１）生涯を通じた食育の推進	3歳児でむし歯のない者の割合	%	89.7 (R5年度)	94.4
	朝食を毎日食べる児童の割合（小学校5年生）	%	89.9	90.9
	朝食を毎日食べる生徒の割合（中学校2年生）	%	87.2	90.2
	朝食を毎日食べる生徒の割合（高校2年生）	%	89.0	91.0
	高校・大学等と連携した食育啓発活動数	回	4	6
	健康経営事業所の登録数	社	2,641 (R6年度)	3,077
	食生活改善推進協議員の高齢者を対象にした活動への県民参加者数	人	50,506 (R6年度)	77,500
（２）食の安全・安心への理解促進	食育活動参加者数	人	3,834 (R6年度)	4,000
	消費者等の理解度向上割合	%	-	80.0
	消費者等を対象とした研修会の開催回数	回	2	5

Ⅱ 魅力ある地域の食文化の次世代への継承と活用（地域での取組）

（１）食文化の継承と発展	月に1回以上食育に取り組む小・中学校の割合	%	98.9 (R6年度)	100.0
（２）農林漁業体験等を通じた体験活動の推進	生産者団体による農林水産業の体験活動実施回数	回	40 (過去5年間の平均値)	40
（３）地産地消の推進	学校給食での地場産物の活用率	%	70.7 (R6年度)	70.7
	とよの食彩愛用店新規登録店舗数	店舗	17 (R6年度)	35
（４）健康を支える社会環境の整備	食の健康応援団登録店舗数	店舗	411 (R6年度)	513

Ⅲ 食を育む環境との共生（次世代へつなぐ取組）

（１）環境に配慮した食生活の推進	食品ロス削減について学習した人数(累計)	人	993 (R6年度)	1,800
（２）環境と調和のとれた農林水産業の推進	環境保全型農業直接支払取組面積	ha	404	414